

【学校教育課長】

- ・ 7 月 10 日、12 日に、令和 7 年度美濃地区教科用図書採択協議会が行われました。この採択協議会までに、各教科の教科書の研究が行われています。中学校で 16 種目あるので、その 16 種類において、美濃地区の現役の学校の先生方、校長先生がリーダーとなって、どの教科書がふさわしいのか研究を行って、この協議会に臨まれました。
- ・ その調査研究をやっていただいて、この 10 日、12 日に行われた美濃地区教科用図書採択協議会で、答申者という美濃地区の中の代表の校長先生が、その教科について、「こういう調査を行った結果、こういう結果が出ました」と報告し、そこでご意見を伺って、教科書を決めていくということになっております。
- ・ 調査研究結果を答申者がその場で答申をしますが、何社もあるところでは最終的に 2 社を選び、その 2 社について、答申者がそれぞれの教科書の特徴や良さを発表します。その後、色々ご意見をいただきながら決めていくという形になっております。
- ・ 本日、この協議をもとに採択します。お配りした資料の中には、令和 7 年度岐阜県教科用図書美濃地区採択について、採択された協議結果一覧が載っております。これとあわせて、各教科の資料も見ていただいて、説明をお聞きいただければと思いますので、お願いします。
- ・ 令和 7 年度に使用する教科書は、小学校で 13 種目、中学校で 16 種目ございます。今年度は中学校が採択の年度になっておりますので、まず中学校の協議の結果を報告させていただきます。
- ・ 調査研究に関わって、どの教科においても重点としたことが、資料の各教科の着眼点の下の部分に記載してある内容です。学習指導要領、今年の 3 月に示された第 4 次岐阜県教育振興基本計画、印刷・製本といったことです。中でも、一人一台端末を持つようになったことを踏まえ、I C T（二次元コード）を積極的に活用した学習活動の充実につながるかといったことは審議、検討されました。
- ・ では、まず順に説明をさせていただきます。資料をご覧ください。
- ・ 国語は東京書籍と光村図書でございます。各単元において、主体的な学びができるように、単元の学習の流れを 1 頁に分かりやすく表記してあります。また、単元の学習後、「学びへの扉」の「振り返る」には、「知る」「読む」「つなぐ」の観点で学習評価ができるように位置付けられています。さらに沢山のコンテンツが位置付いており、主体的、多面的に学習ができるよう配慮されているといったところから光村図書となりました。
- ・ 書写は東京書籍と光村図書でございます。東京書籍の 1 年生 14 ページをご覧くださいと、単元が「1. 見つけよう」「2. 確かめよう」「3. 生かそう」の三つのステップで構成されています。また、単元には、「目標」と「振り返ろう」を設定し、生徒自身が学習のねらいを意識し、何を身に付けたのかを振り返ったり、目標に対する自己評価を行ったりすることができるようにしています。「振り返ろう」では、文字を整えて書くための汎用的なポイントをまとめた「書写のかぎ」のキーワードを使って、自分の言葉で説明することができるようにたいへん配慮されています。こうしたことから東京書籍になりました。
- ・ 地理は東京書籍と帝国書院でございます。東京書籍は、他の分野や他教科、小学校との関連ある内容に

ついて、そのページにリンクする教科を示すマークと二次元コードを掲載し、確認しやすくしています。また、二次元コードが約 140 箇所位置付けられ、動画、思考ツール、個人の振り返りポートフォリオなどの多種多様なコンテンツを活用できるよう、よく配慮されています。こうしたことから東京書籍になりました。

- ・歴史は東京書籍と日本文教出版でございます。東京書籍は、単位時間において、見開きごとの左ページに「学習課題」を示し、資料を読み取る視点を示しながら課題解決を図っている。また、単位時間で学んだことを「チェック」で確認し、「トライ」で学習課題に対するまとめを表現する活動が取り入れられています。さらに考えをまとめる場面では、活動場面に適した思考ツールを用いて、考えを整理できるようになっています。こうしたことから東京書籍になりました。
- ・公民は東京書籍と帝国書院でございます。東京書籍は公民においても章の初めに、「課題をつかむ」で「探究課題」を設定し、「課題を追究する」「課題を解決する」で、課題解決的に学習を進める展開が示されています。また、各単位時間では、見開きごとに導入資料を位置付け、学習課題を示し、本文や資料から追究し課題解決を図る構成になっています。さらに二次元コード数：115 個で、二次元コードを読み取り、学習活動の振り返り、動画資料、端末での操作活動等を活用した学習活動ができるようになっています。こうしたことから東京書籍となりました。
- ・地図は東京書籍と帝国書院でございます。帝国書院は、世界地図 29、日本地図 45 など計 198 の地図が掲載されています。また、写真や統計など、資料の合計は 749 です。また、「モスクワとロシア連邦の東端とは時差が何時間あるか答えよう」(p.59) など、「地図で発見！」というコーナーで主体的・対話的な学習を促す問いが 142 設定されています。さらに令和 8 年中部縦貫道がいよいよ北陸から美濃につながります。帝国書院では、「中部縦貫道」の高速道路、インターチェンジが「中部地方」の地図に記されています。帝国書院の方が新しい情報が反映されていることがわかります。こうしたことから帝国書院となりました。
- ・数学は啓林館と東京書籍でございます。東京書籍は、単位時間の構成を「問題をつかむ→見通しをたてる→問題を解決する（自分でかんがえてみよう→友だちの考えを知ろう→話し合ってみよう）→振り返る→深める」とし、教科書の冒頭で示しています。例えば、第 2 学年「連立方程式の解き方」では、「図を使って考えてみましょう」という記述があり、方法の見通しをもって取り組めるようになっています。また、生徒自身で学習が進められるよう、二次元コードから図の意味を補完するシミュレーションが見られるようにしている。こうしたことから東京書籍となりました。
- ・理科は東京書籍と教育出版でございます。東京書籍は全ての単元の初めのページに、主体的に単元の学習に入れるように、スタート動画が準備され、導入時の個々の考えを記録できるデジタルワークシートが設定されています。また、ページレイアウトが、「目的→方法→結果→考察」のステップを紙面の upper から下に探究の流れを追いやすくなっています。見方・考え方の観点についてもキャラクターのセリフとして掲載されており、深い学びにつながる工夫がされています。こうしたことから東京書籍となりました。
- ・音楽一般は教育出版と教育芸術社でございます。教育芸術社はどの学年にも 40 個以上の二次元コードがあります。歌唱教材の二次元コードでは、各パートの音源が再生できるため、個別最適な学びが可能となります。創作分野においては、学習の手順が丁寧に説明され、音符を使用して創作をするワークシート型になっています。また、二次元コードで音が表示されています。また、「学びのコンパス」とし

て、音楽表現に対する考えを他者と意見交流して深めるという活動例を示していますし、学びを深めることができるよう、キャラクターの吹き出しなどでヒントが示されています。こうしたことから教育芸術社となりました。

- ・音楽科器楽は教育出版と教育芸術社でございます。教育芸術社は身に付けられる資質・能力とそれに対応する学習内容や教材が一目でわかる「学びの地図」により、学習の見通しがもてるようにしています。さらに、教材と学習内容の関連も示されており、生徒にとって、各学年相互の関連が一目で分かるようよく配慮されています。楽器の奏法については、9年間の学習のつながりを大切にし、これまでに学んだ楽器の奏法が紹介されていたり、加えて、新たな奏法も明記されていたりしていますし、発展的に楽器の奏法について学ぶことができます。こうしたことから教育芸術社となりました。
- ・美術は光村図書と日本文教出版でございます。日本文教出版は資質・能力の3つの柱を「学びの目標」と題して、単元の最初にアイコンとともに示されています。例えば、「わたし自身を見つめて（自画像）（2・3年下 P10~13）」では、思考力・判断力・表現力が「構図や表情などの効果を考え」のように造形的な視点が具体的に示されています。また、表現と鑑賞を相互に関連付けることについては、一つの題材を2ページごとにまとめ、「鑑賞」を導入の入口として「鑑賞の入口」と示し「表現」できるように自然な流れで構成されています。こうしたことから日本文教出版となりました。
- ・保健体育は東京書籍と大日本図書でございます。東京書籍は、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、1単位時間の学習過程を「見つける」「学習課題」「課題の解決」「(知識・技能の習得)」「活用する」「広げる」の6つのまとまりで構成してあります。また、「見つける」の活動と課題が明確に示されていることで、1時間の見通しをもちやすい工夫がされています。さらに「広げる」では、自己の生活につなげて考えるように工夫されています。資料の量が多く、生徒が考えるための材料が多く掲載されていることから東京書籍となりました。
- ・技術家庭科、技術分野は東京書籍と開隆堂でございます。開隆堂は、ガイダンスのページで技術の見方・考え方が示されています。また、問題解決の実習例の中でも、技術の見方・考え方が示されています。さらに、どの内容でも、1時間目にあたるページに、実際に授業の中で技術の見方・考え方をどのように働かせていくかという記載があり、そして、どの内容でもその内容の技術の見方・考え方に関わり既存の技術を読み解くページにつながります。学習を進める上で、その内容に関わる見方・考え方を十分に働かせることができるようによく配慮されていることが評価され開隆堂となりました。
- ・技術家庭科、家庭科分野は東京書籍と開隆堂でございます。開隆堂は単位時間ごとに考えのヒントとなる提示資料や自分の生活、既習内容と関わらせた発問を示すことで、生徒の興味・関心から学習課題を設定し、「考えてみよう」「話し合ってみよう」等で他者との協働的な学びにつながるよう工夫されています。また、「生活の課題と実践」については、調査・実験・実習を中心とした取り組み方が記載され、それに合わせて全10種類の実践例が示されています。実践やまとめの方法を写真等で示すことで、家庭生活において生徒が見出した課題の流れに沿って実践しやすいように工夫されていることも評価され開隆堂となりました。
- ・外国語は東京書籍と三省堂でございます。三省堂は各 Lesson の各 Part で、英文の概要・要点を捉え、自分の考えを表現できる設問 Listen & Read が設定されているため、新しい文法事項を学んだり、活用したりしながら、概要や要点を捉える力も身に付くようになっていきます。それだけでなく、その後に Think about Yourself という設問があり、自分の考えを表現できるような構成になっています。また、

単元終末の活動である Goal Activity では、英文の概要や要点を読み取る設問 Read と、読んだ英文を参考に自分のことについて表現する設問 Talk や Write などが設定されています。こうした主体的に学ぶ姿勢につながる設定、構成から三省堂となりました。

- ・道徳科は東京書籍と日本文教出版でございます。日本文教出版は複数の教材とコラムでユニットを編成し、「いじめと向き合う」として各学年4、9月に位置づけています。さらに1年生は、いじめの認知件数の半数を占めることから、3学期にも位置づけてあります。また、1教材1ページで、生徒が毎時間記入できる欄があります。また、学期の終わりにも書くページがあり、自分の心に残ったことや考え方の変化などを認知しやすく、生徒の学習改善につながる評価をおこなうことができます。こうしたこと評価され日本文教出版となりました。
- ・以上、中学校における教科用図書16種目について、協議の結果に基づいて簡単に概略を説明させていただきました。この資料を持っていたきながら、しばらく時間をとります。ここに教科ごとに教科書が並んでいます。中身を見ていただきたいと思います。後ほどご意見いただければと思います。

【委員】

- ・英語の採択された方の教科書の登場人物ですが、1年、2年、3年と同じ登場人物が成長していています。顔も変わり、服装も変わっていています。先生は変わっていません。先生は大人なので3年くらいでは変わらないようになっていきます。一方、もう1社の方は、1年、2年、3年と全て同じ絵で描かれています。子どもは、意外にもそういったところに気がつくと思うんです。

【教育長】

- ・本当ですね。子どもが変わっている。成長していますね。

【委員】

- ・その代わり教員は変わっていないでしょう。子どもは同じ名前の子が成長していく様子が描かれています。ちょっとずつ大人になっていっているんです。服装も3年生らしくなっているんです。

【教育長】

- ・よく考えられていますね。

【委員】

- ・そういう細部まで子どもの興味をひく工夫がしてあるのが良いですね。

【委員】

- ・前回採択された教科書と変更になったところはどこですか。

【学校教育課長】

- ・はい。4つあります。数学が大日本でしたが東京書籍となりました。美術が開隆堂でしたが日本文教出版に変わりました。技術・家庭科は、技術、家庭科ともに東京書籍でしたが、それぞれ開隆堂になりました。このような変更があります。

【委員】

- ・QRコードの件なのですが、実際の教育現場で、QRコードを活用するというのは、授業中にあるのでしょうか。

【学校教育課長】

- ・基本的に授業中にやっています。ただし、これまでの教科書よりコードの数が増えていますので、また使い方は変わってくると思います。

【委員】

- ・QRコードの数が年々増えてきているのですが、これもチェックしなければいけないというか、現場の先生もそういうことが大変ですね。見えないところなので。

【学校教育課長】

- ・はい。教師も授業のその場で初めて開くことはできないので、事前に見て研究することは大切ですので、そういう意味では手間必要なものではあります。

【委員】

- ・子どもにとっては良いですね。教科書は持っているし、タブレットも持っているのだから、家で見たい時に見られるわけですし、自分の好きな教科の学習は楽しいでしょうね。

【学校教育課長】

- ・そうだと思います。タブレットを持ち帰った際には家で見ることも可能ですし、学習の振り返りに使用することもできますので、学校の中だけではない活用は広まっていくと考えています。

【委員】

- ・こんな素敵なものなら見たいと思いますよね。

【委員】

- ・そうですね。

【委員】

- ・デジタル教科書というものはまた別ですか？関係ないのですか？

【学校教育課長】

- ・今回は紙の教科書についてです。

【委員】

- ・デジタル教科書はどういうふうになるのですか？もうあるのですか？同じような対応したもの、内容のものがあるのですか？

【学校教育課長】

- ・そうですね。内容は同じものになりますが、動画教材がさらに充実していたり、教科書に直接書き込みができたりといった機能が搭載されたものになります。

【委員】

- ・そちらの検討は必要ないですか？

【学校教育課長】

- ・はい。こちらの紙の教科書の採択で良いです。

【委員】

- ・そうすればデジタルのものも決まるということですね。

【委員】

- ・教科書のボリュームが増えましたね。

【委員】

- ・そうですね。持ち運ぶのも大変ですね。

【委員】

- ・QRコードを読み込んで動画などを視聴する際は各自イヤホンを使用しますか。

【学校教育課長】

- ・イヤホンについては学校単位での用意になりますので、イヤホンを使用する学校もありますし、タブレットを近づけて音を聞いている姿もあります。

【委員】

- ・授業の中で一度に音声が流れることもあるということですね。

【学校教育課長】

- ・例えばクラス全員で同じ動画を見るという場面であれば、教室に設置してある大型モニターに投影して視聴することも可能ですので、授業の中での状況に合わせた対応になります。

【教育長】

- ・この大政奉還のところについても、郡上市の子どもたちは京都に修学旅行に行くので、この二条城についても詳しく取り上げられている方が小学校からの繋がりを感じられるものが良いです。
- ・また、どの教科書にも郡上一揆の連判状は載っていますね。二日町村連判状ですね。岐阜県白山文化博物館蔵と記載されています。

【教育長】

- ・今の教科書は表紙についても、女の子がズボンを履いていたり、友達に色んな国の子がいたり、さまざまところに配慮がされていますね。

【委員】

- ・確かにそうですね。

【委員】

- ・カラフルで見やすいのが印象的ですね。そして、実際の生活に結びつく情報が多いので、本当にためになるものになっているなという印象で、ついつい読んでしまうものになっていて、子どもにとって良いものになっていると思います。

【教育長】

- ・委員さんの言う通りで、ついつい読んでしまうものもいいですね。学校の先生は教科書を読んで終わりという授業をするわけではなく、教科書を使って授業をするわけです。子どもたちが後から教科書で復習したり、確かめたりと、家でも使えるというのが大切ですね。社会科でも資料を丸読みといった授業はしないので、後からでも使えるのがポイントですね。

【委員】

- ・私の時代にもこんな教科書があったらよかったと思える良い教科書ですね。

【教育長】

- ・教科書も大きくなって見やすくなりましたね。
- ・甲乙つけ難くなっているのは、どこの教科書会社もよく考えて作ってあるからですね。

【委員】

- ・道徳の教科書は、どれを読んでも次が読みたくなるようなものばかりですね。1年間で全部読むのですか。

【教育長】

- ・全部読みます。35時間で作ってあるので。ただ自作資料に組み替えることも道徳の場合認められてい

るので、先生が自分で作った資料を使いたいというときに、それと同じ価値の内容項目のものは使わないこともあります。ただ、これだけ教科書がいいと、教科書を使ってやることが多いと思います。

【教育長】

- ・地理を見ると、東京書籍は伝統文化が白川郷の一斉放水です。帝国書院は残念ながら岐阜県は載っていませんが。こういう場面でも東海地方の有名な所が取り上げられていて良いですね。
- ・昔に比べると大きく重くなっていますが、全て持ち帰るような指導はしていませんので、必要なものや、自分が今夜見たいと思うものを持って帰るようにしていますので、そんなに重くなることはないと思います。

【委員】

- ・QRコードを学校で写しておけば、全部家に帰って見えるのですか。

【学校教育課長】

- ・それは可能です。ブラウザのタブで残るので家に帰ってみることはできると思います。

【教育長】

- ・これだけQRコードが充実していくと、デジタル教科書は不要になるということはないですか。

【学校教育課長】

- ・デジタル教科書の良さは、教科書に直接書き込んだり、漢字に全てふりがなをつけることができたり、色を反転させるなどその子に応じた見えやすさで提示したりすることができます。

【教育長】

- ・時間となりましたが、皆様、お認めいただくということでよろしいでしょうか。

【委員】

- ・はい（全員）

【学校教育課長】

- ・今、中学校のことをお話をさせていただきましたが、小学校における教科用図書の採択について、令和7年度におきましては、無償措置法第14条の規定に基づき、令和6年度に採択したのと同じ教科書を採択しなければならないと、特例を除いてというようなことがありますので、継続使用ということで今回も一覧に載せさせていただいておりますので、ご了承ください。また、この採択に結果につきましては、9月1日に情報公開となりますので、そこで全ての教科の採択結果が公表されるので、また採択協議会の委員、各教科の調査研究の資料議事録とか、この場のことについて、そこまでは内密にということで、ご承知おきいただきたいと思いますので、ご理解よろしく願いいたします。